

平成30年度

運輸安全方針及び目標

アーガス観光株式会社

平成30年4月3日発行

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

アーガス観光株式会社では、「運輸安全マネジメント」に基づき、輸送の安全を確保するため、全社員が一丸となって以下のとおり取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

①代表取締役社長及び安全統括管理者は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、率先して社内における輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。

②当社は、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan Do Check Act)を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する目標

輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、次の通り目標を設定致します。

「平成30年度目標」

- ① 重大事故ゼロ
- ② 飲酒運転ゼロ
- ③ 過労運転ゼロ

3. 輸送の安全のために、講じようとする措置

① SAS(睡眠時無呼吸症候群)対策の推進

他社高速バスで発生した健康起因事故を踏まえ、全運転者を対象に専門医の受診を行い、SASスクリーニング検査を実施する。必要に応じ、専門医の指導に従う。

② 脳MRI健診

健康診断結果に限らず、全運転士を対象に今年も脳MRI健診を実施する。必要に応じ、専門医の指導に従う。

③ 初任診断・一般診断の受診

全運転士を対象に独立行政法人自動車事故対策機構による初任診断・一般診断を受診いたします。

4. 輸送の安全に関する重点施策

- ① 輸送の安全が最も重要であるという意識を全社員に徹底し、関係法令及び安全管理規定に定めた事項の遵守する。
- ② 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的に行う。
- ③ 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じる。
- ④ 輸送の安全に関する情報の伝達体制を確立し、社内において、必要な情報を伝達共有する。
- ⑤ 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、的確に実施する。

5. 安全統括管理者に係る情報

安全統括管理者 代表取締役 利川 浩宗